

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
分担研究報告書

高齢者がん患者の外科診療指針策定に必要な基盤整備に関する研究

研究分担者 海堀 昌樹 関西医科大学 外科学講座 診療教授

研究要旨：「高齢者がん医療 Q&A 総論」における外科的治療に関わる記載事項と内容を検討し分担執筆した。高齢者がん医療についての研修会に参加し議論を深めた。

#### A.研究目的

超高齢者社会を迎え、高齢者肝細胞癌に対する治療機会が増加傾向にある。肝胆膵外科治療の領域における高齢者がん患者に対する外科手術療法の有用性明らかにし、「高齢者医療 Q&A 総論」に執筆通じて高齢者肝細胞癌に対する治療戦略について課題を明確にする事を目的とした。

#### B.研究方法

高齢者肝胆膵領域の合併症率やその患者リスクについて、文献的検索及び解析を行い、手術適応と術後の予後・合併症についての今後の課題について検証を行った。また、日本消化器外科学会員を中心に外科手術療法総論、肝胆膵外科領域の各論の内容を検討し情報交換を行った。

（倫理面への配慮）

個人情報の取扱いについては十分な配慮を行った。

#### C.研究結果

高齢者であっても大半の固形がんにおいては外科的切除が治療第一選択肢であった。ただ、侵襲の大きな根治術では手術合併症や術師の為生存に悪影響を及ぼすことより、栄養、貧血、電解質バランスの改善を図った後、腫瘍摘出を行うことが薦められる。

#### D.考察

超高齢肝細胞癌に対する治療戦略は年齢によって左右されるべきではなく、腫瘍因子や肝機能に加えて、生活機能や栄養状態、併存疾患の程度を包括的に評価したうえで個々の患者について慎重に検討すべきである。高齢者転移性肝癌に対する治療戦略に関しては未だ十分なエビデンスが集積していなかった。

#### E.結論

高齢者肝細胞がん医療における外科手術の選択や予後をQ&Aの作成と議論を通して明確にした。今後ますます増加の一途が予測される高齢者への外科手術療法の適応や有用性が周知されることを期待し次年度以降、さらに研究を推進する。

#### G.研究発表

Treatment Optimization for Hepatocellular Carcinoma in Elderly Patients in a Japanese Nationwide Cohort. Kaibori M, et al  
Ann Surg. 2019 Jul;270(1):121-130.

学会発表

日本肝細胞研究会追跡調査よりみた高齢肝細胞癌に対する外科的切除の意義/  
海堀昌樹、他 日本癌治療学会  
(2019/10/24)

#### H.知的財産の出願・登録状況

- 1.特許取得：なし
- 2.実用新案登録：なし